



神宅カッキー新聞

2012年(平成24年)

7月19日 木曜日

上板町

神宅小学校の5年生33人が取材してつくりました

みんなの人気者カッキーくん

私たちが住んでいる上板町神宅は、大正時代から柿や桃の栽培が盛んです。私たちはそんな神宅が大好きです。農家の人たちは、せん定や消毒、肥料をたっぷり与えるといった工夫をして、甘くておいしい果樹を栽培しています。これからもずっと栽培を続けてほしいと思います。神宅で作られている柿は、6種類。とねわせ、ひらた、ねなし、ふうゆ、じろう、あたごやまとです。これらの柿をイメージしたキャラクターが神宅小学校にはあります。(熱田秀文、熱田真之、岡本泰崇、森江千葵、井内雪帆、切原美月、重本亜実、鳥羽涼子、乃一心星)

ほっと

ニユース

神宅小学校には、マスケットは、キャラクターの「カッキーくん」と「あたごちゃん」があります。教室のドアや児童玄関などにステッカーが貼ってあり、毎朝私たちを迎えてくれます。

「カッキーくん」と「あたごちゃん」は、神宅小学校で代々12年間、受け継がれてきました。作ったのは、当時の人権委員会の人たちです。その時はやっていたゲームのキャラクター「カービー」をモデルにし、神宅の特産品である柿をイメージして作ったそうです。

名前をつけたのは石山貴弘先生で、コンピューターでデザインしたのが12年前に神宅小学校にいた西條正親先生です。カッキーくんの手がチョコとパーになっているのは、顔だけでなく、全体の雰囲気をも明るくするためだそうです。2人の先生は「神宅小学校の子どもたちが明るく楽しく生活できるようにと願って作りました」と答えています。

みんなの人気者、カッキーくんたちについて、5年生の保護者の方にアンケートをしました。「カッキーくんやあたごちゃんを知っていますか」という質問には、9割以上の方が「知っている」と答えてくれました。「カッキーくんたちをどう思いますか」とたず

ねると、「かわいい」「一目で神宅の柿をイメージできる」という答えが返ってきてきました。私たちの神宅小学校のマスケットキャラクターを多くの方が「かわいい」と答えてくれたので、うれしかったです。他にも「カッキーくんを作ったことで、子どもたちが毎日元気に過ごせていると思います」「デザインがかわいくて、なじみやすいと思います」という意見もありました。

今回のアンケートで、カッキーくんたちは多くの人に愛されていることがわかりました。私たちは、カッキーくんたちとともに神宅小学校のよい伝統を受け継いでいきたいと思えます。

(鎌村春輝、川瀬況騎、西尾碩人、三島洋憲、阿部なつみ)



みんなに愛されているカッキーくんとあたごちゃん。各教室のドアなど、学校の色々なところで見られる(上板町立神宅小で)

上板町神宅喜来135。1872年創立。児童数168人。教育目標は「心身ともに健康で、よりよく、たくましく生きる児童の育成」。